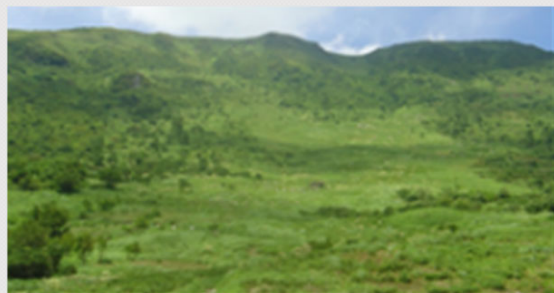


事例 20 地方公共団体のシカ被害対策への支援

(近畿中国森林管理局 滋賀森林管理署)



(写真提供：米原市)



- 滋賀県^{まいばら}米原市 ^{いぶきやま}伊吹山(民有林)
- (上)被害前(平成 14(2004)年)
- (下)シカによる被害後(令和 5(2023)年)

- 滋賀県米原市 伊吹山(民有林)
- ICT 囲いわなの設置
(令和 6(2024)年 4 月)

滋賀県米原市の伊吹山では、シカによる食害の影響で裸地化が進んでおり、令和 5(2023)年 7 月の大雨では、土石流が複数回発生するなど、地域に大きな影響を与えています。こうした中、米原市では、伊吹山の植生回復に向けて、シカの捕獲が課題となっています。

滋賀森林管理署では、平成 30(2018)年度から米原市とシカ捕獲の協定を締結し、くくりわなの貸与やドローンにより撮影した植生被害状況等の情報提供など、同市と連携してシカ被害対策に取り組んできました。

しかし、近年被害が深刻化していることを踏まえ、令和 6(2024)年 4 月には、米原市と協議し、ICT 囲いわなを貸与するとともに、設置作業に協力することとしました。ICT 囲いわなは、遠隔で監視・操作が可能なため、多数のシカが入ったタイミングでわなを作動させ、効率的にシカを捕獲できます。これらのわなの設置により、同年度は、伊吹山において 27 頭のシカを捕獲することができました。

同署では、引き続きわなの貸与や捕獲活動を通じて、地域と連携したシカ被害対策を推進し、森林の保全に取り組んでいきます。